

# 「函館水物語～函館の水とまちづくり～」 (24時間扱い)

授業者 市川 洋二

## 《単元について》

### 単元の目標

函館水物語～函館の水とまちづくり～	
「水の旅」～健康なくらしとまちづくり～	「エピソード0」～昔から今へと続くまちづくり～
○ 函館の水と私たちの生活や産業とのかかわりや、飲料水を確保するための対策や事業が計画的・協力的に進められていることについて見学・調査したり、資料を活用したりして調べ、それらが地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにする。	○ 函館の水の確保と地域の発展に尽くした先人の具体的事例について調べ、地域の人々の願いや生活の向上に尽くした先人の働きや苦心などについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てることができるようにする。

本単元「函館水物語～函館の水とまちづくり～」は、「健康なくらしとまちづくり - (3) ア, イ」と「昔から今へと続くまちづくり - (5) ウ」の単元を統合し、一つの大単元として再構成し、指導計画に位置付けた。2つの単元を通して、学習経験を想起したり、既習事項を活用したりする場面を意図的に配置している。この一つの大単元として再構成する支援によって、社会的事象に対する見方や考え方を発展的に更新し、より強く学びの価値を実感しながら学習に対する意欲を高めることができる考えた。また、単元を通して課題設定と振り返りの支援をネットワーク化することで、より自主的・主体的に課題を解決していくことができると考えている。

本単元の開始期として、飲料水の確保が私たちの生活にとって必要不可欠であり、そのための事業が計画的・協力的に進められていることを理解することができるよう、防災について学んだ経験や日常生活における疑問をもとに学習問題を見出し、学習計画を立て、見学・調査活動などの体験的な課題追究やまとめの学習を行う。

展開期では、健康で良好な生活の維持と向上のために関係諸機関が連携していることや、今の自分のできることに考えてきたことなど、開始期の学びをもとに昔から今へと続く函館の水とまちづくりの学習へと発展していく。昔と現在のまちの様子を比較したり、立場や視点の転換を促したりしながら、生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について調べ学習を行う。考えを焦点化させたり、選択や判断をせまったりする場面を一単位時間に設定することで、多様な見方や考え方に気づき、協同的に課題を解決していくことができると考えた。

さらに、単元のまとめ期では、まちづくりに込められた人々の願いやこれからのまちづくりについて考え、「函館水物語 (かみしばい)」にまとめる活動を行う。函館の水について学んできたことの価値やその変容について振り返り、話し合う場と時間を保障することで、地域社会の一員としての自覚や、地域社会に対する誇りと愛情を育むことができると考えた。

## 《単元の評価規準》

函館水物語～函館の水とまちづくり～	
「水の旅」～健康なくらしとまちづくり～	「エピソード0」～昔から今へと続くまちづくり～
○ 飲料水の確保に関わる対策や事業について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 <span style="float: right;">評1</span>	○ 水の確保に関わる人々の生活の歴史的な背景や地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に関心を持ち、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。 <span style="float: right;">評1</span>
○ 飲料水の確保に関わる対策や事業が、人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。 <span style="float: right;">評2</span>	○ 水の確保に関わる地域の人々の願いや生活の向上と、地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を関連付けて考え、適切に表現している。 <span style="float: right;">評2</span>
○ 飲料水の確保に関わる対策や事業について、見学や聞き取り調査、資料や統計などから必要な情報を集め、読み取り、まとめている。 <span style="float: right;">評3</span>	○ 水の確保に関わる地域の人々の願いや生活の向上と、地域の発展に尽くした先人の働きや苦心についての具体的事例から必要な情報を集め、読み取り、まとめている。 <span style="float: right;">評3</span>
○ 飲料水の確保に関わる対策や事業が、人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 <span style="float: right;">評4</span>	○ 水の確保に関わる、地域の人々の願いや生活の向上と、地域の発展に尽くした先人の働きや苦心について理解している。 <span style="float: right;">評4</span>

《本単元におけるアクティブ・ラーニングで育んでいく資質・能力》

**自主的・主体的な課題解決**

- ・事象に思いや願い、興味・関心をもつ
  - ・学習を振り返り、次の学習に生かす
- 本単元における活動の姿

函館の水について学んだことを振り返り、自分の考えを深め、表現していくことで、これからのまちづくりについて興味や関心を持ち、主体的に課題を追究していくことができるようになる。

**協動的な課題解決**

- ・協同する（練り合い型）
  - ・協同することの価値に気付く
- 本単元における活動の姿

水を確保する対策や事業に対する相互の考えを比較し、関連付け、表現し合うことで、それらの仕事に携わる人々や先人の苦心についての自分の考えを深めたり、新たな見方や考え方に気付いたりすることができるようになる。

《研究との関わり》

自主的・主体的な課題解決や協動的な課題解決を進めることができるよう、課題設定の在り方や振り返りの在り方の支援を表すと、以下ようになる。

	自主的・主体的な課題解決のために	協動的な課題解決のために
課題設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日常生活」「これまでの学び」との関連付け 新しい発見や驚きに喜びを感じながら課題を追究していけるよう、子供たちの生活経験や既習事項と課題を関連付ける。</li> <li>・事象の比較から課題を設定 問題意識を高めながら、自主的・主体的に課題を解決していけるよう、社会的事象間の違いやずれから生まれる疑問をもとに課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協動的な学びを誘発する発問 個々の思考力・表現力の良さが生かされ、課題に対する多様な見方や考え方が生まれるよう、取捨選択や価値判断をせまる発問を設定する。</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題設定を導く振り返り 次の課題に対する期待感や必要感をもって、新たな課題を見出すことができるよう、学んだことや学びの価値を振り返る活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つぶやきを共有する振り返り 自分の考えが深化したり、新たな見方や考え方に気付いたりすることができるように、振り返りを視覚化、共有化する支援を位置付ける。</li> </ul>

《単元のグランドデザイン》

函館水物語～函館の水とまちづくり～

函館の水とまちづくりのために、私たちができることを考えよう。

水の旅～健康なくらしとまちづくり～

エピソード0～昔から今へと続くまちづくり～

	開始期	展開期	まとめ期
開始	<p>課題 水はどのようにして私たちにとどけられるのだろうか？</p> <p>日常生活との関連付け</p> <p>事象の比較から課題を設定</p>	<p>課題 どのようにして函館のまちは変わっていったのだろうか？</p> <p>これまでの学びとの関連付け</p> <p>事象の比較から課題を設定</p>	<p>課題 函館水物語をつくろう</p>
展開	協動的な学びを誘発する発問		
展開	<p>調べる 飲料水を確保するための対策や事業</p>	<p>調べる 地域の発展に尽くした先人の具体的事例</p> <p>本時 どのようにして水不足を解決？</p>	<p>学んだことをもとに、「函館水物語（かみしばい）」をつくろう。</p> <p>これからのまちづくり自分ができること</p>
まとめ	課題設定を導く振り返り		
まとめ	つぶやきを共有する振り返り		

《単元計画》

函館水物語～函館の水とまちづくり～ 水の旅～健康なくらしとまちづくり～		
	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	<p>① 一日にどのくらい？ ○ 災害給水について話し合う。</p> <p>絵文字は何の場所を表しているのかな？</p> <p>地震の時とかに、水をもってきてくれる。</p> <p>○ 一日の水の使用量を考える。</p> <p>お風呂の水がたくさん使っているよね。</p> <p>想像をはるかにこえてたくさんの水を使用している。</p>	<p>◇ 飲料水を確保する事業について関心を持ち、意欲的に考えようとしている。 <b>【評1】</b></p> <p>☆ 生活に欠かせない水の確保についての問いや調べる意欲をもつことができるよう、日常生活と関連付けた導入を設定する。 <b>【日常生活との関連付け】</b></p> <p>☆ 自分の考えが深化したり、新たな見方や考え方に気付いたりすることができるように、ルーズリーフノートを活用し振り返りを視覚化、共有化する支援を位置付ける。 <b>【つぶやきを共有する振り返り】</b></p>
	<p>② どうして、こんなにふえたのだろうか？ ○ グラフをもとに水の使用量が増えてきた理由を考える。</p> <p>人口やくらしの変化によって使用量は増加してきた。</p> <p>節約する人が増えてきたから使用量が減ったのかな。</p> <p>○ 調べたいことについて話し合い、学習計画を立てる。</p> <p>たくさんの水はどこからくるのだろうか？</p> <p>ダムや浄水場に行って自分の目で見てみたい。</p> <p><b>水はどのようにして私たちにとどけられるのだろうか？</b></p>	<p>◇ 資料や統計などをもとに必要な情報を集め、飲料水について学習問題や学習計画を考えている。 <b>【評2】</b></p> <p>☆ 学習問題を考えたり、学習計画を立てたりできるよう、グラフをもとに水の使用量や生活の変化について考える課題を設定する。 <b>【事象の比較から課題を設定】</b></p> <p>☆ 次の課題に対する期待感や必要感をもって、学習問題や学習計画について考えることができるよう、学んだことや学びの価値を振り返る時間を保障する。 <b>【課題設定を導く振り返り】</b></p>
	<p>③ どうしていつでも水を利用できるの？ (調査①) ○ 調べ学習の見通しをもつ。</p> <p>いよいよ、調査開始。水の旅の始まりだ。</p> <p>○ 「水の旅マップ」を作る。</p> <p>川の水を浄水場できれいにして家や学校に送られる。</p> <p>配水場や配水管を通して、家や学校に送られる。</p>	<p>◇ 飲料水を確保する事業について関心を持ち、意欲的に考えたり、話し合ったりしようとしている。 <b>【評1】</b></p> <p>☆ 浄水場やダムなどの水を確保する対策や事業について考え、見学学習への目的意識を高めることができるよう、グループごとに「水の旅マップ」をつくる活動を設定する。</p>

水の旅

	<p>④⑤⑥ どうして函館市の水はおいしいの？（調査②） ○ 浄水場・ダムを見学する計画を立てる。</p> <p>水の旅マップでわかったことを確かめたいな。 働く人の気持ちを知らりたいな。インタビューしよう。</p> <p>写真をとってあとでまとめるときに生かそうよ。 水をきれいにする順番についてしっかり見学しよう。</p> <p>○ 見学する。（新中野ダム、笹流ダム、赤川高区浄水場） 小さな湖みたい。ここが水の旅の始まりなのかな。 いろいろな種類のダムがあるんだ。違いは何だろう？</p> <p>これがフロック形成池か。想像以上に大きいな。 浄水場で働く人の工夫や思いがわかったよ。</p> <p>○ 調べたことをもとに「函館水物語」をつくろう。 調べてわかったことをまとめよう。 見学で発見した情報を交換しようよ。</p> <p>グラフや写真、絵を入れると伝わりやすいと思うな。 水についてくわしくなったよ。もっと知りたいな。</p>	<p>◇ 飲料水の確保に関わる対策や事業について、見学や聞き取りなどから必要な情報を集め、まとめている。 <b>【評3】</b></p> <p>◇ 飲料水の確保するための浄水場やダムの仕組みや働きについて理解している。 <b>【評4】</b></p> <p>☆ 飲料水を確保するための事業が計画的・協力的に進められていることを理解できるよう、浄水場やダムの仕組みや働きを見学・調査し、まとめる活動を設定する。</p>
	<p>⑦ 水道代は何に使われているの？（調査③） ○ 函館市の水道料金の使い道を考える。</p> <p>水ってただじゃないの？お金払う必要あるのかな？ 浄水場の施設とか検査とかお金がかかるのかな？</p> <p>水道局の人の給料だけじゃないのかもしれないよ。 聞き取り調査の質問をまとめよう。</p> <p>○ ゲストティーチャーに聞き取り調査をする。 何が一番お金を使っているのですか？ 予想通りだった。これまで学んだことが役に立った。</p> <p>私たちの健康のために様々な工夫や苦労があるんだ。 森と水にはつながっているんだね。初めて知ったよ。</p>	<p>◇ 飲料水を確保する対策や事業が、人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 <b>【評4】</b></p> <p>☆ きれいな水をつくるには水源涵養林を守ったり、水道施設を整備したりするなど、多くの費用と働く人たちの工夫や努力があることに気付くことができるよう、ゲストティーチャーから聞き取り調査をする活動を設定する。</p>
<p>水の旅 II</p>	<p>⑧水の旅は続く～使われた水はどこへいくの？ ○ 資料をもとに下水処理場の働きを調べる。</p> <p>使った水のゆくえなんて考えたことなかったな。 え？きたない水をきれいにしているの！</p> <p>下水処理に微生物が役に立っているんだ。 汚水をきれいにして海へ流しているんだ。</p> <p>○ 下水の再利用や水を汚さないために、自分たちにできることを考え、発表する。 下水処理や水のリサイクルについて初めて知ったよ。 私たちの健康的な生活のために欠かせない仕事だ。</p> <p>生活に欠かせない大切な水。むだにしないために・・・ 私たちにできる小さなことから始めよう。</p>	<p>◇ 下水処理事業や節水の取組が、人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 <b>【評4】</b></p> <p>☆ 水の循環や自分たちの生活と水の使い方について考えることができるよう、下水処理の仕組みや再利用の取組について調べる活動を設定する。</p>
	<p>⑨⑩健康なくらしを支える水 ○ これまでの学習を振り返り、「函館水物語」の続きを書く。</p> <p>水は循環している。大切な水を守る取組がある。 学んだことを物語にまとめて発表したい。</p> <p>水を確保する事業や取組によって水が守られ、私たちの健康な生活や良好な生活環境を支えている。</p>	<p>◇ 飲料水の確保に関わる対策や事業が、人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。 <b>【評2】</b></p> <p>☆ これまでに学んだことと自分たちの生活を関連付けて考え、交流したり、まとめたりする活動を設定する。 <b>【課題設定を導く振り返り】</b></p>



エピソード0～昔から今へと続くまちづくり～

展 開 期  エ ピ ソ ー ド 0	⑪ あなたならどのようにして水不足を解決しますか？ ○ 地図やイラストをもとに、考えたことを発表する。 井戸を掘るのがいいと思うな。○さんは？ ○ 考えたことをもとに学習問題・学習計画を立てる。 井戸を掘るのがいいと思うな。○さんは？ 昔のことがわかる資料や地図がほしい。	水道管をつくるよ。ダムもつくれば今と同じ。 水道管をつくるよ。ダムもつくれば今と同じ。 昔のことを知っている人にインタビューしよう。	◇ 水の確保に関わる人々の生活の歴史的な背景や当時の人々の生き方に関心をもち、意欲的に調べ活動をしようとしている。 <b>【評1】</b> ☆ <u>新しい発見や驚きに喜びを感じながら課題を追究していけるように、これまでの学習や歴史的な事象と課題を関連付ける。</u> <b>【これまでの学びとの関連付け】</b> ☆ <u>今と昔の函館の様子の違いに気付き、その変化の過程について問題意識をもつことができるよう、昔と今の地図を比較する活動から課題を設定する。</u> <b>【事象の比較から課題を設定】</b>
	⑫ 堀川乗経はどのように水不足を解決したのだろうか？ ○ 堀川乗経がどのように函館の水不足解消を図ろうとしたのかを知る。 お坊さんがどうして？ そうだったのか！ 川がつく町名が多いのは、昔の函館と関係があったんだ。	私たちが考えた方法と似ているよ。 苦勞して作った堀川の働きで水不足を解決したんだね。	◇ 堀川乗経の働きや苦心についての具体的な事例から必要な情報を集め、読み取り、まとめている。 <b>【評3】</b> ☆ 堀川乗経の働きや願乗寺川の様子について話し合うことができるよう、資料をもとに願乗寺川が掘られた経緯や工事について調べ、話し合う活動を設定する。
	⑬ 願乗寺川をつくってみよう！ ○ 願乗寺川作りの模擬体験から、当時の人々の苦勞について話し合う。 用務員さんが困っているって言ってたよ。 道具や機械がないから、手で掘るしかない。	グラウンドにミニ堀川をつくったらどうかな。 当時の人々は大変な苦勞をして水不足を解決したんだ。	◇ 堀川乗経の働きや願乗寺川の様子に関心をもち、当時の人々の生活や願いについて考えようとしている。 <b>【評1】</b> ◇ 水の確保に関わる人々の願いと堀川乗経の働きや苦心を関連付けて考え、適切に表現している。 <b>【評2】</b> ☆ 昔と今の工事の仕方や道具の違いに気付き当時の人々の苦勞を理解できるよう、体験的な活動と活動を振り返る時間を保障する。
	⑭ 願乗寺川ができてまちはどのように変わっていったのだろうか？ ○ 願乗寺川ができた後の函館の人々の生活の変化について考え、話し合う。 飲料水を手に入れることができたんだね。よかった。 地図を見ると函館のまちが広がったのがわかるね。	もしかしたら、人口が増えていったのかもしれないね。 川のおかげで人々の生活がよくなっていったんだ。	◇ 水の確保に関わる人々の願いや生活の向上と、願乗寺川の働きと堀川乗経の苦心を関連付けて考えている。 <b>【評2】</b> ◇ 願乗寺川の働きや堀川乗経の苦心について理解している。 <b>【評4】</b> ☆ <u>願乗寺川ができてからの町の様子や人々のくらしの変化について理解できるよう、②の学習想起や資料をもとに生活の様子と変化について考えさせる課題を設定する。</u> <b>【これまでの学びとの関連付け】</b>
	⑮ どうして願乗寺川は埋め立てられたのだろうか？ ○ 資料をもとに願乗寺川の状態と人々の生活を関連付けて理由を考える。 え？どうして？あんなに苦勞して作ったのに。 浄水場とか下水処理場が必要だよ。	この川の水を飲んでいたの？病気になるらないの？ 函館の人々は、きれいな水を求めていたんだね。	◇ 願乗寺川が埋め立てられた理由や当時の人々の願いについて考え、学習したことと関連付けて、適切に表現している。 <b>【評2】</b> ☆ <u>願乗寺川の様子の違いに気付き、その変化の過程について問題意識をもつことができるよう、地図を比較する活動から課題を設定する。</u> <b>【事象の比較から課題を設定】</b>
	⑯ どうしてきれいな水を手に入れることができたのだろうか？ ○ 時任為基になったつもりで請願文を書き、交流する。 まずは当時の人の気持ちを考えてみよう。	きれいな水が必要だという強い願いが込められていた。	◇ きれいな水と生活の向上をもとめる人々の願いと、時任為基の働きや苦心を関連付けて考え、適切に表現している。 <b>【評2】</b> ☆ 時任為基はどのようにしてきれいな水を手に入れたのかを考えることができるよう、資料をもとに請願文を書く活動を設定する。
	⑰ 水道ができてまちはどのように変わっていったのだろうか？ ○ 資料をもとに、水道ができた後の函館の人々の様子について考える。 「清泉滾々」ってどういう意味なんだろう？	きれいな水が手に入って人々は喜んだんだろうな。	◇ 水の確保に関わる人々の願いと水道によって変化した生活の様子とを関連付けて考えている。 <b>【評2】</b> ◇ 水道ができてからの函館の人々の様子や生活の変化について理解している。 <b>【評4】</b> ☆ <u>水道ができてからの函館のまち変化について考えることができるよう、②の学習と当時の様子わかる資料を関連付けて課題を設定する。</u> <b>【これまでの学びとの関連付け】</b>

	<p>⑱ どのようにしてたくさん水を手に入れることができたのだろう？ ○ 函館市の人口と断水についての資料をもとに、どのようにして十分な水を手に入れたのかを考える。</p> <p>やっぱり、人口の増加と水の使用量は関係していたんだ。 たくさん水、いよいよダムができるのかな。</p> <p>3人目のすごい人だ。どんな働きをした人なのかな？ 笹流ダムをつくって、十分な水を確保。今とつながった！</p> <p>⑲ 笹流ダムのひみつをさぐる ○ 資料をもとに笹流ダムの特徴（バットレス式ダム）について知る。</p> <p>見学に行ったときのことを思い出してみよう。 浄水場の人々がめずらしいダムだって言っていたよ。</p> <p>新中野ダムとは形も作り方も違うんだよね。 日本で初めてのバットレス式ダムが作られた。</p> <p>⑳ どうしてバットレス式ダムを選んだのだろう？ ○ 重力式ダムとバットレス式ダムの特徴を比較する。</p> <p>使用するコンクリートの量も、作る期間も全然違う。 それぞれの特徴を友達と話してみよう。</p> <p>○ 小野基樹の工夫・努力について考え、話し合う。</p> <p>はやく、安くつくるためにバットレス式ダムにしたんだ。 函館の人々はやっとな安心して生活できただろうな。</p> <p>㉑ 笹流ダムができて、まちはどのようにかわっていったのだろう？ ○ 笹流ダムができて、函館のまちの様子はどう変わったかを予想する。</p> <p>ダムができて水不足が解決。大火も防ぐことができた。 健康で安全な暮らし、今と同じになってきたんだと思う。</p> <p>研究大会で考えたことが一個ずつ実現してきたみたい。 いよいよ「函館水物語」も終わりになるのかな。</p>	<p>◇ 水の確保に関わる地域の人々の願いや生活の様子についての資料・統計から必要な情報を集め、読み取っている。 <b>【評3】</b></p> <p>☆ どのようにして十分な水を手に入れたのかを考えることができるよう、④～⑥の学習と資料を関連付けて話し合う課題を設定する。 <b>【これまでの学びとの関連付け】</b></p> <p>◇ 水の確保に関わる人々の願いと歴史的な背景や当時の人々の生き方を関連付けて、意欲的に考えようとしている。 <b>【評1】</b></p> <p>☆ 笹流ダムの特徴について理解できるよう、写真や資料を提示し、見学学習を振り返る時間を保障する。</p> <p>◇ 水の確保に関わる、地域の人々の願いや小野基樹の働きや苦心について理解している。 <b>【評4】</b></p> <p>☆ 小野基樹が笹流ダムをバットレス式にした理由を考えることができるよう、2つのダムを比較し、意見を交流する場を設定する。</p> <p>◇ 水の確保に関わる人々の願いとダムによって変化した生活の様子とを関連付けて考えている。 <b>【評2】</b></p> <p>◇ ダムができてからの函館の人々の様子や生活の変化について理解している。 <b>【評4】</b></p> <p>☆ 笹流ダムができたあとの函館の様子を考えることができるよう、これまでの学習や見学学習の経験をもとに課題を設定する。 <b>【これまでの学びとの関連付け】</b></p>
<p>まとめ期</p>	<p>⑳㉑㉒「1989→2089」タイムカプセルには何が？ ○ 学習をふり返り3人の先人達の働きや苦心、思いを「函館水物語」にまとめる。</p> <p>人々の願いと3人の働きをわかりやすく並べてみよう。 イラストや地図、グラフなどこれまでの資料を使おう。</p> <p>「水の旅」で学んだ今の函館とつなげて考えたらどう？ 物語の終わりにどんなことを書いたらいいかな。</p> <p><b>先人の働きや苦心によって水が確保され、健康で安全な生活ができるまちへと発展してきた。</b></p> <p>○ 函館のためにできることを考え、まとめる。</p> <p>タイムカプセル！すごいね、中身が気になる。 きっと、未来に向けたメッセージを書いたんじゃない。</p> <p>これからの函館の水やまちづくりについて考えようよ。 私たちの函館、もっと知りたい。いいまちにしたいな！</p> <p><b>私たちの生活を支える水を守り、私たちがくらしている函館のこれからの発展のためにできることを考えよう。</b></p>	<p>◇ 水の確保に関わる人々の生活の歴史的な背景や地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に共感し、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。 <b>【評1】</b></p> <p>◇ 水の確保に関わる地域の人々の願いや生活の向上と、地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を関連付けて考え、絵や言葉で適切に表現している。 <b>【評2】</b></p> <p>☆ 函館に水を導いた先人達の思いをまとめ、函館のためにできることについて、考えたり交流したりすることができるよう、「函館水物語」にまとめる活動を位置付ける。</p>

本時の目標

資料をもとに今と昔の函館の違いについて考え、水を確保するための人々の願いや工夫について調べる活動に興味や関心をもつことができるようにする。

学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ 今と昔の函館の地図を比べ、気付いたことを話し合う。</p>  <p>ずっと昔の函館の地図だね。 まちが小さい！人口も少ない？</p> <p>あれ？亀田川がないよ。 川がないから水道もないの？</p> <p>何をしているのかな？ 水を売っている。災害給水かな？</p> <p>水がない。火事が起きたら大変。 今と昔の間について何が・・・</p> <p>○ 本時の課題と見通しを確認する。</p> <p>あなたならどのようにして水不足を解決しますか？</p>	<p>☆ <u>今と昔の函館の様子の違いに気づき、その変化の過程について問題意識をもつことができるよう、昔と今の地図を比較する活動から課題を設定する。</u> 【事象の比較から課題を設定】</p> <p>☆ 本時の課題を把握したり、学習の見通しをもったりすることができるよう、構造的に資料を板書に位置付ける。</p>
<p>○ 課題について考える。</p> <p>水がないと生活できない。なんとかしなきゃ。 川から水を手に入れるにはどうしたら・・・。</p> <p>これまで学んだことをもとにして考えると・・・。 他の人はどんな方法を考えたのかな？</p> <p>○ 小集団で考えを交流する。</p> <p>井戸を掘るのがいいと思うな。○さんは？ 水道が必要。ダムがあれば人口増でも大丈夫。</p> <p>二人の考えはつなげることができそうだ。 私たちと同じような考えの人はいるかな？</p> <p>○ 全体で話し合う。</p> <p>私も山に井戸を掘れば水が出ると思いました。 たぶん、川から水道管で水を運んだと思うな。</p> <p>この時代、水道やダムをつくるのはむずかしい。 本当はどうだったんだろう？知りたいな。</p>	<p>☆ <u>新しい発見や驚きに喜びを感じながら課題を追究していけるよう、これまでの学習(日常生活)と課題(歴史的な事象)を関連付ける。</u> 【これまでの学びとの関連付け】</p> <p>☆ 個々の思考力や表現力が生かされ、多様な考え方を交流できるよう、ワークシートやルーズリーフノートを活用する支援を行う。</p> <p>☆ 課題について相互の考えを比較し、関連付けながら自分の考えを深化できるよう、多様な考えを焦点化させたり、視点の転換を促したりする対話や応答による支援を行う。</p>
<p>○ 振り返りを交流</p> <p>今の函館とのちがいにびっくりした。 ○さんの意見を聞いて、たしかにと思った。</p> <p>昔の人は水不足で困っていたことがわかった。 昔と今のまちの変化についてもっと調べたい。</p> <p>○ 学習問題と学習計画の確認</p> <p>どのようにまちが変わっていったのか調べよう。</p> <p>昔のことがわかる資料や地図がほしい。 夏休みに昔を知っている人にインタビューだ。</p> <p>2学期は、川のなぞから調べていこう。 水道とダムの歴史を探っていくのが楽しみだ。</p>	<p>◇ 水の確保に関わる人々の生活の歴史的な背景や当時の人々の生き方に関心を持ち、意欲的に考えている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評1</span></p> <p>☆ <u>課題について自分の考えが深化したり、新たな見方や考え方に気付いたりすることができるように、振り返りを視覚化・共有化する支援(ツイート・リツイート)を位置付ける。</u> 【つぶやきを共有する振り返り】</p> <p>☆ 次の課題に対する期待感や必要感をもって、新たな課題(学習問題)や解決の方法(学習計画)を見出すことができるよう、学んだことや学びの価値を振り返り、交流する活動を位置付ける。 【課題設定を導く振り返り】</p>